

GOVERNOR'S **MONTHLY LETTER**

11

2010-2011
ガバナー月信



国際ロータリー第2510地区

2010-2011年度ガバナー

佐々木 正丞 MASATSUGU SASAKI

〒060-0042

札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL (011)207-2510 FAX (011)207-2512

E-mail : rid2510@nifty.com

<http://www.ri2510.gr.jp>

2010-2011年度
国際ロータリーテーマ

「地域を育み、大陸をつなぐ」
Building Communities Bridging Continents



国際ロータリー第2510地区 2010-2011年度



- I クラブの活性化、会員増強に向けて、CLPの導入検討をしよう
- II 地域ニーズを踏まえて、地域密着の奉仕活動を実践しよう
- III ロータリー財団の理解を深めて協力支援をしよう
「毎年一人100ドル」を協力しよう



| | |
|-------------------------------------|----|
| ガバナーメッセージ「未来の夢計画」 | 1 |
| ロータリー財団月間にあたって | 2 |
| 世界インターアクト週間について | 4 |
| 新たなる“ロータリー財団奨学生”像 | 5 |
| 財団学友委員会 | 6 |
| GSE活動について | 7 |
| 今年度地区補助金申請の現況/ロータリーカード未加入クラブ0を目指して | 8 |
| 公式訪問報告 | 10 |
| 新入会員のご紹介/ロータリー財団寄付、米山寄付/例会場等の変更について | 15 |
| ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い/文庫通信 | 16 |
| 地区カレンダー（11月・12月） | 17 |
| 出席率・会員数 | 18 |



未来の夢計画

国際ロータリー第2510地区

2010-2011年度 ガバナー **佐々木正丞**

(札幌RC)

「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金をつくろう」——ロータリー財団の起源は、1917年、米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において、アーチ・クランフがこのように提案した「ロータリー基金」にさかのぼることができます。数ヵ月後、26ドル50セントの最初の寄付金を受け取るのですが、当初、これはクランフ会長への記念品の購入資金だったようでありました。この基金は1928年の国際大会で「ロータリー財団」と名づけられ、5,739ドル7セントにまで成長していました。1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州法の法令の下に非営利財団法人となったのであります。

ロータリー財団を構成する法人会員はRIのみで、ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」です。RIと法的に組織は違っても、その目的・使命・活動は両者共に一体のものであります。

ロータリー財団の使命は、2000年2月のロータリー財団管理委員会において改訂され、「ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流等のプログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとするRIの努力を支援すること」と決定され、RI理事会にも承認されました。

ロータリー財団が2017年に創立100周年を迎えることを機に、管理委員会は、財団が「奉仕」の第二世紀に移行するための計画を立てたのであります。創立以来、ロータリー財団は、プログラムにほとんど変更を加えることがありませんでしたが、管理委員会は、多種多様な関係者の意見を取り入れ、「未来の夢計画」を立案しました。この計画では、財団の使命を新たにするとともに、ロータリアンが多岐にわたるプロジェクトを実施することで、多大な影響をもたらし、持続可能な成果を生むことができるよう、より一層、有効適切な支援方法が編み出されました。

2007年に改訂された、新しいロータリー財団の使命は、「ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。財団の新しい使命、そして「世界でよいことをしよう」という新しい標語は、財団管理委員会とRI理事会、ならびに規定審議会によって承認されました。

すでに、2010年7月から74カ国100のパイロット地区で「未来の夢計画」はスタートしております。パイロット段階で新補助金モデルを検証し、2013年7月からの全世界での実施にむけて問題解決に努めなければいけません。

そのためにも、2510地区は、現在のシステムから新しいシステムに移行するための準備作業が急務であります。現在の財団プログラムは、大きく3つの分野に分けることができます。それは、教育的プログラム、人道的プログラム、ポリオプラスプログラムであります。新しいシステムでは、6つの重点分野が示されておりますが、実際には人道的な分野に力点が置かれています。

今月は、ロータリー財団月間であります。皆さんも新しい補助金制度を研究し、クラブでの自主的・主体的奉仕活動に活用すると共に未来のロータリーについて考えてみませんか。



ロータリー財団月間にあたって

地区ロータリー財団委員会

委員長 **岩城 秀晴**

(札幌南RC・PG)

はじめに

財団委員長として、財団月間における活動と財団の変化が激しい時に、月信によって会員の皆様にご理解を得るための文章となりますと、かなり難しく、どこからの切り口にするかが思いつかないのですが、佐々木ガバナーからの要請でもありますので、何とか形をつけたいと思っております。

さて、御高承のとおり、財団は世の善行をしようとして1917年、アトランタの国際大会において提案され、1928年の国際大会においてロータリー財団と名付けられ、1931年に信託組織となり、1983年にイリノイ州法、法令により、非営利財団法人となったのです。そして、以来世界恐慌、第2次世界大戦と続き、ロータリー財団は停滞はしましたが、1947年1月にポール・ハリスが亡くなるとその死を悼み、寄付金がロータリー財団に寄せられました。そして、1948年6月までに寄付金は100万ドルに達しました。そして、1957年にポール・ハリス・フェローの認証制度をスタートし、1000ドルでフェローとなる制度が創られました。

以上が財団の創立された経過であり、かつ、この間における活動が脈々と私ども会員に胸を打つものが生まれ、そして、財団への熱き思いによって、ロータリーへのプログラムが活発になって来るのです。

そして、ロータリーのプログラムの中には次のような2510地区としての計画が実行されて行くのです。

第2510地区としてはどのような計画を講じているかと申しますと、

1. 財団への“毎年あなたも100ドルを”寄付
2. ロータリーの2億ドルチャレンジ、1クラブ1000ドル寄付
3. 恒久基金、使途指定、大口寄付、ポール・ハリス・ソサエティへの協力
4. ロータリーカードへの協力
5. 各プログラムに積極的に参加する
6. 2010年-2011年度、年次寄付の地区目標を30万ドルとします。
7. 財団の未来の夢計画を理解し、新制度への移行期の補助金の理解を今年度中に会員に浸透させる

このように、寄付金に対する目標とプログラムへの協力、そして、「未来の夢計画」の御理解を御願いと致しました。

まず最初に、寄付金について申し上げますと、2009年-2010年につきましては、RI第2510地区の全体では、2,689名で年次寄付が273,685ドルでありました。1人当たり101ドルの目標を達成致しました。

一方、1クラブ1,000ドルの目標でしたが、40クラブが協力して戴きました。

また、31クラブが協力を戴けなかったのです。

そして、0寄付金クラブが3クラブありました。残念なことです。

ここで、2009年～10年6月までの寄付金額は次のとおりでした。

| | |
|-------------|--------------|
| 1. 年次寄付 | 273,685.27ドル |
| 2. ポリオプラス寄付 | 47,288.62ドル |
| 3. 使途指定寄付 | 7,098.02ドル |
| 4. 恒久基金寄付 | 3,000.00ドル |
| 合計 | 331,071.91ドル |

なお、2510地区の中で1番高額な寄付クラブは札幌クラブの17,240ドル、札幌東クラブの13,422ドルでした。

また、1人当りの高額クラブは苫小牧北クラブで、296.74ドル、札幌手稲クラブ224.35ドルでした。大変な御協力を心から感謝申し上げます。

最後に

財団は、ロータリーの歴史が105年を迎えておりますが、2009年2月には2億2千万ドルの投資損失がありました。

その為に、財団としては出来るだけ、その損失効果を少なくするために未来の夢計画を立案したのです。

- ・財団の使命に沿って、プログラム運営を簡素化すること。
- ・ロータリアンにとって、関連性のある世界の主要なニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できる。
- ・ロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること
- ・世界目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること。
- ・意思決定権をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルでロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。

以上の大綱を述べていますが、その具体的な解説は今現在はありません。しかし、未来の夢計画は2013年～14年度までに完全に導入されることを目指して、段階的に実施される予定となっております。

当地区は、未来の夢試験プログラムに選ばれませんでした。日本からは6地区が選ばれて未来の夢計画をテストする予定になっております。

それにつけても、未来の夢計画では国際親善奨学金制度及びGSE制度は新補助金制度によるプログラムとなり、人道的プロジェクトに重点的ウエイトがより一層高まるのではないのでしょうか。この事が財団と地区と密接なつながりがより深まっていくのではないかと考えられます。

しかしながら、今のところは具体的な方向づけは私共にはありませんが、11月のロータリー財団地域セミナーにより解説されることと思っております。

11月には財団セミナーがロータリー研究会と同時に開催されますので、この研修内容につきましてご報告をさせて戴きますので、今の時点では会員各位の財団に対する思いを深めて戴きたいと存じます。よろしく願い申し上げます。



世界インターアクト週間について

地区インターアクト委員会

委員長 **若松 孝**
(札幌モーニングRC)

「インターアクト」という言葉は充分ご存知だと思いますが、今回は世界インターアクト週間にちなみまして、少しインターアクトの歴史を紐解いてみたいと思います。

今から遡ること約50年前、1959-1960年度のRI会長であるハロルド・トーマス氏は「青少年の奉仕活動を開発する」ために委員会を発足させました。2年後の1962年、RI理事会により「インターアクトプログラム」が宣言されました。世界で初めて誕生したインターアクトクラブ（IAC）は、アメリカのフロリダにあるメルボルンRCが提唱したメルボルン高校IACです。日本での最初のIACは、世界で結成された翌年、1963年仙台東RCが提唱した仙台育英学園高校IACです。

わが第2510地区の最初は、室蘭東RCが提唱している室蘭大谷高校IACで、1965年5月7日に発足しています。世界の最初に遅れることたった3年のできごとです。

このように今からおおよそ50年前に始まり、そして現在まで世界各地に広がっているのです。ちなみにわが地区の現在も続いているIACのなかで一番新しいクラブは、札幌西北RCが提唱されている札幌山の手高校IACで、2001年6月18日発足となっています。

「世界インターアクト週間」は世界中のインターアクターとロータリアンが最初に結成されたIACの創立記念日を祝うため、11月5日を含む週を示します。ぜひ、インターアクトになじみのないロータリアンのみなさんも少しだけ「インターアクト」に興味を持っていただくと幸いです。

実は、今年2010年のRI理事会の1月会合でインターアクトプログラムの年齢制限を「14歳から18歳」だったものを12歳から、に引き下げました。四大奉仕を「新世代」を入れて五大奉仕に、という声も聞こえています。私のような若輩で知識もなくロータリーの末席にいる人間にはRIの進んでいる方向はわかりません。しかしインターアクトが50年前のようにふたたび注目されてくるような気がしています。

あなたのクラブもIACを提唱されてはいかがでしょう？



山の手高校ボランティア部 2009年あしなが学生募金



静内川右岸の清掃



新たなる“ロータリー財団奨学生”像

地区国際親善奨学金委員会

委員長 **矢橋潤一郎**

(札幌東RC)

今年度、委員長を仰せ付かりました。当委員会の委嘱を受けて3年目にして委員長です。

財団の仕組みは、多くのロータリアンにとって難しいものかと思えます。地区GSE委員を3年間務めて、財団の一部を少し理解できたような気になりましたが、奨学金はまた別世界です。いちから勉強し直しているところへ、システムが変わりますとのお知らせ。そんな過渡期は、お手伝いする我々同様、奨学生も大変です。

今年5月の試験に合格した4名は、来年7月以降の出国を目指す「2011-12年度奨学生」となります。すでに辞退者が1名出ていて、11-12年度奨学生は現在3名です。

10-11年度奨学生は6名。昨年度1年間、地区委員会が主催するオリエンテーションに参加してもらいました。が、今年度に入って希望大学との調整がうまくいかず、残念ながら辞退に追い込まれた方が1名出てしまいました。

10-11年度奨学生は、応募締め切り後に、財団から募集枠の変更が通達された経緯があります。それまで用意されていた文化研修（6ヶ月間、3ヶ月間）とマルチ（2年間）の2つのコースが突然とりやめになり、1年間のみの支給に一本化されました。文化研修希望者には試験当日にその旨を伝え、了解を得て合格としました。しかし、実際には海外の大学が設ける条件には厳しいものがあります。

そのほかの5名は、順次出国、或いは近々の出国に向けて準備しています。

11-12年度奨学生は、あらかじめ1年間のコースで募集しております。9月に2回目のオリエンテーションを済ませました。10月1日締め切りの英文申請書は、財団本部へ送付しております。あとは本人たちが希望する大学に合格するだけです。

並行して12-13年度奨学生の募集手続きに入ります。ここまでは現行通りです。13-14年度奨学生からは、新しい制度が適用されます。新制度では相当な手間がかかる見込みで、今から募集休止の検討を始めている地区もあるようです。

余談ですが10-11年度奨学生の松本圭介氏（小樽ロータリークラブ推薦）がインドへ出国前に「東大卒僧侶の『お坊さん革命』— お寺は最高のエンタメ発信地」（講談社プラスアルファ新書）を上梓しました。

緒方貞子氏のように世界へ、山崎直子氏のように宇宙へと活躍の場を広げられるよう、お手伝いを続けたいものです。そのためにも新しい財団システムの勉強を…



財団学友委員会

地区財団学友委員会

委員長 **齋藤博司**
(千歳セントラルRC)

当委員会は第2510地区ロータリー財団委員会の小委員会であります。他に国際親善奨学金委員会、GSE委員会、補助金委員会の3つの小委員会があります。

そして、財団の別組織として財団学友会（留学から帰国した者達にて構成・奨学生とGSE派遣団員）があります。

この学友会をロータリークラブ及びロータリアンへ積極的に啓蒙し、且つ外国で得た知識・見聞をロータリアンのみならず、社会に還元する為に当委員会は活動しております。



当委員会と学友会とは両輪のごとく、どちらかが欠けても機能しません。学友会を盛り上げていくことも当委員会の大きな役目です。活動として一つ目は、毎年のごとく地区大会への学友の参加を推進すること。これは、少しでもロータリアンの皆様に学友会を知ってもらおうと云う啓蒙の一環です。また、学友のメンバーがロータリーを知るよい機会でもあります。二つ目は、帰国報告会です。これは、海外で学んだ経験・見聞を発表してもらいます。ロータリアンの皆様には我らロータリアンの会費の一部をもって留学し、その国での親善を行い、知識・見聞を広めてきたことの報告です。これは、学友の義務と心得ております。

他の活動としては、各ロータリークラブでの学友による卓話の機会をロータリアンに積極的にPCなどを通じてピーアールをしております。次に学友からのロータリアン誕生への働きかけの推進です。また目標としては、学友の学友によるロータリークラブの設立です。

学友会発足以来10年を迎えました。この間の学友会員数は約330名を数えております。

この人数の把握もまた当委員会の活動の一つとなっております。来年度には、創立10周年記念行事を開催する計画で、本年度より準備委員会を学友会と共に検討しております。

最後に、異文化圏へ船出していろいろな知識・経験・見聞を吸収してきた青年たちと積極的に我らロータリアンは交わり肥やしにしていきたいものです。また彼らもそれを望んでいます。りっぱに社会に貢献している者たちばかりです。一例ですが、近年では女性宇宙飛行士の山崎直子氏もその一人です。



本年度は当委員会及び学友会にとって心強くなるがありました。

それは、佐藤秀雄PG(千歳RC)がRI[ゾーン1]財団学友コーディネーターに就任されたことです。



GSE活動について

地区GSE委員会

委員長 沼 舘 栞

(札幌清田RC)

GSE(研究グループ交換)プログラムは、ロータリー財団の代表的な教育的プログラムの一つです。ロータリアンの皆様の中にはGSEという言葉はご存知でも、実際にどのような活動なのかをご理解いただけている方は案外少ないかと思われます。またGSEが単なる外国との親睦交換のプログラムだと思っ
ていらっしゃる方も多いと思います。

このGSEプログラムは、職業を持った25歳から40歳までの比較的職業経験の浅い男女を対象にしており、海外派遣を通して自分の職業は海外でどのように行なわれているかを体験し、その経験を自国に持ち帰り、地域に貢献できる国際人を育て上げるプログラムです。つまり職業人の方を派遣し、職業人の方を受け入れるプログラムであり、その地区で選考された将来有望な職業人の集まりがGSE団員であるということです。GSEという受入ばかりが目立っておりますが、GSE団員を派遣するという事こそ、地区にとっては重要な意味を持ちます。それは海外での経験を生かし、国際的な視野を持つ人材を育てられる事と、世界的な規模のロータリアンの奉仕活動、ロータリー財団活動の素晴らしさ等を体感し、派遣後には学友会員として、また時にはロータリアンとなり、内外からサポートしてくれる人物になる可能性が生まれるという点です。

前年度はR1第2360地区(スウェーデン)とのGSEプログラムを行ないました。

R1第2360地区はスウェーデン第2の都市(イエーテボリ)を中心にした地区です。R1第2510地区では初めて行なう“特別重点的GSE”プログラムということで、チームメンバーは特に社会福祉・介護に関する職業(障害者支援・高齢者支援)の方々を募集し、福祉先進国のスウェーデンでホームステイをしながら視察・研修を5週間体験して頂きました。

スウェーデンR1第2360地区からは今までと同様に不特定の職業の方々ですが素晴らしいメンバーがやってきました。そして私達に深い感動を与えて帰国しました。R1第2360地区チームからは滞在地での素晴らしい体験を通し日本のイメージがより良いもの
に変わったこと、人生の中で最も得がたい体験をできるこの素晴らしいプログラムを沢山の方々に味わって頂きたいという意見が大半を占めておりました。

GSEプログラムは、短期間で極めて大きな効果を期待できる事業の一つと考えております。次年度はドイツR1第1840地区との交換プログラムが決定しました。どうか皆様の更なるご支援・御協力を心からお願い申し上げます。



スウェーデンからのGSE訪問団



今年度地区補助金申請の現況

地区補助金委員会

委員長 須田 義雄

(札幌南RC)

地区補助金制度は2003年からスタートしました。この資金は、3年前のロータリー財団寄付の50%を地区財団活動資金DDFとして戻され、国際奨学金、GSE、3H補助金マッチング・グラント、そして地域に密着した社会奉仕活動について申請の全額ないしは一部を補助するものです。ここ数年来、年額3万ドルで1ドル110円のときは330万でしたが、今年度は1ドル85円とすると255万となり、かなりの減額になる可能性があります。

補助金制度に関しては当地区ではよく理解されていなかったか、全く知らなかったというクラブもありましたが、ここ1、2年度の頻回なるPRとガバナー月信の投稿を続けた結果、昨年度は19クラブの応募があり、そのうち13件が審査の対象となり12件に補助金を支給されました。

委員長を引き継いだ時は、おおまかに3つの条件、①地域に密着した奉仕活動であること、②直接会員が参加して汗を流すこと、③3年前のロータリー財団の寄付額などをクリアすることです。2008年度までは、まだ文化活動も認めているという引き継ぎでしたが、年々条件が厳しくなり、2009年度からは明確に文章化され、文化的活動に一切使用出来なくなりました。

すべてのプロジェクトは人道的支援（健康、飢餓、貧困など）直接的に取り組むものであり、困窮している地域社会、グループ、低所得者層、ハンディキャップを持つ方々、高齢者などに恩恵があるものでなければならないと再三の指導がありました。基本的にマッチング・グラントと同じで違うのは地区補助金においては地域の美化、環境に関するプロジェクトが認められているということです。

今年3月の会長エレクト研修セミナー（PETS）で、次期会長、財団担当者に地区補助金は昨年と同じく、新年度が始まる前に内容の概略と金額を4月中旬、遅くとも下旬までにガバナー事務所までFAXで知らせて下さいと申し上げました。これは、新年度に入る前に日本事務局財団室でおおまかなプロジェクト内容と申請した地区補助金金額を満たしているかどうか確認することになるのためです。5月中に事業内容についての採用の可否について各々のクラブに報告し6月中に正式の申請書を提出していただき、日本事務局財団室に送り、個々にその可否についてやりとりをし、提出可能の内容については7月1日までに申請するように再度お願いしました。

全部で15件の申請がまいりましたが、うち1件は日本事務局財団室で内容が不適格として却下され、もう1件は申請期間中に提出しなかったため不採用になりました。



13件の内訳は、グループ別では、第1グループが2件、第4が1件、第6が2件、第8が3件、第9が1件、第11が3件、第12が1件と、不採用になった2件を加えると従来は札幌周辺が多かった傾向でありましたが、今年度の特徴としてほぼ全域にまたがっていることでした。この制度はようやく周知されて来たことを知り、喜ばしい限りではありますが……。

内容は植樹が7件で最も多く、ついでベンチ、車椅子、図書購入費など、障害児のボーリング参加、車の移動費など従来と比べ、小粒になったこと、これは2009-2010年度のロータリー財団地域セミナーハンドブックに記載されている内容を守っていることがよくわかります。

13件の審査は来る10月中旬に行われます。植樹、寄贈などが多くどれも今までと比較して小粒。金額も10万から40万以下、多くは20万円台のもので寂しい感じがします。今年度も従来通り3万ドルの地区補助金ですが、今の為替レートでいくと250万程度のものとなり、今年度が一番補助金額が低いこととなります。審査パス可能な13件を合計すると約260万となり、全部そのまま認めたい気持ちですが、為替の変動があり、従来まで一時審査でカットされた残金を追加申請として2次募集していたのは、今年は不可能と思われるます。

今年度、ガバナーの地区目標の一つは、地域に密着した社会奉仕活動ですが、地域の方々との交流を含め、ロータリーの良さと奉仕活動をPRさせるためには、やはり、文化的活動を含めた温かい思いやりのある、地域住民との結びつきが大事であり、その費用は各々のクラブで拠出しなければならないこと、この制度が活用できないことを残念に思います。

ロータリーカード未加入クラブ0を目指して

現在、カード会員の皆様がロータリーカードをお買い物などで利用した際、ご利用金額の0.3%とロータリーゴールドカードの年会費10,500円のうち3,000円が自動的にロータリーにロイヤリティーとして還元され、現在はポリオ2億ドルチャレンジに加算されております。こうして集められた寄付金額は累計で2,000万円を突破し、ロータリー活動に大きく貢献しています。

しかし、現在のロータリーカードの有効会員数は約6,000名とロータリアンのおよそ6%に過ぎません。今年末までに有効会員数10,000名を目標に入会促進を行っておりますので宜しくお願い申し上げます。

ロータリーカード専用URL <http://orico.jp/rotary>

ロータリーカードの特典や直接の申込みが可能です。一度ご覧下さい。

第1ゾーン・ロータリーカードコーディネーター
久世晴雅(第2770地区)

公式訪問報告

函館亀田ロータリークラブ

8月23日(月)

8月23日(月)、第10グループ「函館亀田ロータリークラブ(玉井清治会長、会員37名)」に、佐々木正丞ガバナー、鍋谷操子ガバナー補佐、久保田俊昭代表幹事が当クラブへ公式訪問されました。

当日は、定刻通り「会長・会長エレクト・幹事懇談会」が開かれ、当クラブの特徴や現状、今年度の目標などを説明しました。その後「クラブ協議会」へ移り、四大奉仕他各委員長からの活発な意見や論議を時間ぎりぎりまで重ねました。「第1769回例会」では、佐々木正丞ガバナーより、レイ・クリングスミス国際ロータリー会長の考えや佐々木正丞ガバナーご自身の思いを熱く話され、会員一同熱心に聞き入り、公式訪問を終了しました。



函館東ロータリークラブ

8月24日(火)

8月24日(火)佐々木ガバナー、森元ガバナー補佐、久保田地区代表幹事をお迎えしての公式訪問が行われました。10時より会長、幹事、会長エレクトとの懇談会が行われ、当クラブの特徴でありますクラブ奨学生、ローターアクト委員会復活の報告をし、DLP、CLPの説明を受けました。

続いて、11時からのクラブ協議会では、各委員会の活動計画、報告を熱心に聞かれ、励ましのお言葉やアドバイスを頂きました。12時30分より例会が開催され、今年度SAA方針のマイ箸運動を説明。又、例会に於いてもRI会長のテーマを分かりやすくご説明され、世界と日本のギャップ、地区目標の三つについてもご説明頂きました。終始和やかな雰囲気の中、大変有意義に公式訪問は終了いたしました。貴重なご助言を頂き、ありがとうございました。



函館セントラルロータリークラブ

8月24日(火)

8月24日(火)佐々木正丞ガバナー、鍋谷操子ガバナー補佐、久保田俊昭地区代表幹事を迎えて公式訪問が開催されました。

午後4時より会長・幹事懇談会が行われ、当クラブより会長、幹事、会長エレクトの3名が出席し、当クラブの現状を報告し、奉仕活動、会員増強についてなど、各クラブの事例を交えて貴重なご意見を頂きました。

午後5時よりクラブ協議会が行われ、四大奉仕をはじめ各委員会から今年度の活動計画の発表があり、佐々木ガバナーより各委員会に懇切・丁寧に講評を頂きました。

午後6時10分より記念撮影を行い、午後6時30分より例会が開催され、佐々木ガバナーより講話を頂き、本年度のテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」についてわかりやすくご説明を頂き有意義な時間となりました。

午後7時20分より懇親会を開き、佐々木ガバナーにはゆっくりとくつろいで頂き、ゲームなどで楽しんで頂き終了いたしました。



森ロータリークラブ

8月25日(水)

8月25日(水)午前9時30分、佐々木正丞ガバナーと鍋谷操子ガバナー補佐が会場に到着され、あまりに早いお着きに会長・幹事共にビックリいたしました。

午前10時より福地会長、村上幹事、吉田エレクトとの懇談は和やかに開かれ、新世代への取り組みを行う事に賛同を得て、益々頑張ろうと思う気持ちを持つ事が出来ました。

午前11時よりクラブ協議会が行なわれ、今年2年目に入るCLP活動の年間計画を各クラブ委員長より発表させて頂きました。

正午からの例会では、出席した22名の会員の前で佐々木正丞ガバナーより「ロータリーとは何か」をテーマに、ロータリーの原点に戻って奉仕活動が重要である事をお話いただきました。また、森町は桜が有名である事を憶えておられ、来年は是非お花見をしたいとの事でしたので5月に行なわれる「観桜会」には必ず来町して下さいとお願いをして閉会しました。



函館北ロータリークラブ

8月25日(水)

8月25日、佐々木ガバナー、森元ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

午後4時より『会長・幹事懇談会』が行われ、当クラブより、会長、会長エレクト、幹事が出席し、クラブ運営の現状や、9月に実施予定の3つの社会奉仕事業、①9/4国の子寮の児童を招待する実業団ソフトボール公式戦観戦。②9/8洞爺丸慰霊碑の清掃奉仕。③9/26函館ハーフマラソン大会の協力事業などをご報告しました。

午後5時より『クラブ協議会』が行われ、各委員長からの活動計画の発表があり、その後、佐々木ガバナーより、今後のクラブ運営に役立つ貴重なアドバイスをいただくことができました。

記念写真撮影後、午後6時30分より、『例会』が行われました。佐々木ガバナーからは、「クラブ活性化へ向けてのCLP導入」「地域密着の社会奉仕の実践」「ロータリー財団への協力支援」などのお話をいただきました。とても有意義な公式訪問でした。



函館ロータリークラブ

8月26日(木)

8月26日(木)佐々木ガバナー、鍋谷ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

午前10時より会長・幹事・会長エレクトとの懇談会が開催され、坂本会長より当クラブの方針及び現況を報告致しました。又、会員増強についての質問には、佐々木ガバナーより丁寧で参考になる助言を頂きました。

その後、11時にクラブ協議会に会場を移し、坂本会長の議事進行で各委員長より活動計画及び目標を発表致しました。

佐々木ガバナーの講評の中で特にクラブ奉仕と会員増強と職業奉仕について温かい評価を頂きました。

12時30分より例会が開催され、佐々木ガバナーより本年度のRI方針、地区の考え方、10月16日、17日の地区大会の事、そしてRI会長レイ・クリンギンスミス氏のことなどお話しされ、和やかで大変有意義な公式訪問になりました。



室蘭北ロータリークラブ

8月31日(火)

記録的な猛暑は北海道にも及び、通常、夏雨や海霧（ガス）で冷夏模様の室蘭も、今年は久方振りの猛暑酷暑の連続でした。8月31日公式訪問日、佐々木ガバナーは8月第4週、道南函館の各クラブを歴訪され、さらに、その後2度に渡る東京出張で、体調を崩された御様子。当初公式訪問も危ぶまれたが、無理を押して駆けつけていただき、公式訪問を無事終了されました。

私たちもガバナーのコンディションを考慮し、あまりハードな内容にならないよう心掛け、終始和気藹々のリラックスした中で、スケジュールは進行しました。ガバナーの講話、記念写真撮影の後に会食となり、夜間開始の例会となったため〔生ビール〕が出て、大いに賑わった例会となりました。佐々木ガバナーありがとうございました。お体気をつけてください。



室蘭東ロータリークラブ

9月1日(水)

9月1日（水）佐々木ガバナー、菅ガバナー補佐、渡部ガバナー補佐幹事をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

10時より会長・幹事懇談会が開かれ、当クラブより会長、会長エレクト、幹事の3名が出席しクラブの現状を報告し、ガバナーよりRIの方針を交えながらアドバイスをいただきました。

11時から当クラブ協議会にご列席いただき、各委員長から年間事業計画を説明した後、佐々木ガバナーより「なんでも相談会」等、諸活動に対するの質問や講評をいただきました。

12時30分より第2400回の例会では初めにガバナーより藍原新入会員に会員バッジを付けていただき、その後RI会長方針や当クラブへの活動に対する期待と激励を込めたご挨拶をいただき大変有意義な公式訪問を終了しました。



登別ロータリークラブ

9月1日(水)

いつもですと涼やかな登別も“暑いですね”に違和感のない今年です。9月1日も暑い一日でしたが、佐々木正丞ガバナーご夫妻、菅俊治ガバナー補佐ご一行は健やかに当クラブ例会会場でありますホテル平安にお入り頂きました。会長・幹事懇談会、クラブ協議会は当方の緊張した説明に佐々木ガバナーからの建設的なアドバイスがあり、ほっと胸を撫で下ろさせて頂いた次第です。

午後の訪問という事で、例会は当クラブの夜間例会形式で行わせて頂きました。当夜は遠藤秀雄パストガバナー初め多くの会員が参加しました。ガバナーの含蓄のある卓話の後、遠藤パストガバナーのご発声で乾杯、ビジターとして参加したデンマークから来た若い婦人研修生の歌声を聴くなど、和気藹々とさせて頂きました。佐々木ご夫妻を初めご来賓の皆様にはお寛ぎ頂きましたでしょうか。この後、佐々木ガバナーには健康に留意されますよう祈念申し上げます。



室蘭ロータリークラブ

9月2日(木)

佐々木正丞ガバナーと菅俊治ガバナー補佐を迎えた第3146回の例会は9月2日、室蘭プリンスホテルで開かれた。着席した会員が拍手を送って、濱中實会長の先導で入場した佐々木ガバナーを歓迎した。

例会は通常通り点鐘と開会宣言で幕開け。食事後の出席報告、幹事報告などに続いて佐々木ガバナーが登壇。世界のRCはどうなっているのか、今後どうしようとしているのか一の視点で卓話した。事例として盛んに取り上げたのはRI会長、レイ・クリンギンスミスの言。「方針に掲げた地域を育み、地域を結ぶは、地球上で全部を結び、地域をつくれという。目線や志の高い考え方」と説明した。このほか、10月16、17日に開催する地区大会へ大勢の会員出席を要請された。

例会に先立ち、クラブ協議会に出席。クラブ、職業、社会、国際の四奉仕委員長から10-11年度の活動方針について説明を受けた。これに対して佐々木ガバナーは「室蘭は技術のまち、職業魂は根付いているはず。若者が興味を持つような活動を」などとアドバイスをされていた。



洞爺湖ロータリークラブ

9月2日(木)

9月とは言え、まだまだ暑さ厳しい折、9月2日(木)佐々木ガバナー公式訪問が行われました。当日は、菅ガバナー補佐、渡部補佐幹事にもご出席いただき、午後4時からの会長・幹事懇談会から、クラブ協議会、例会と、和やかに実施されました。会長・幹事懇談会では、少数クラブの悩みをガバナーに聞いていただき、それに対する的確なアドバイスもいただきました。

クラブ協議会出席メンバー、イコール例会出席者の極小クラブではありますが、当日は、丁度2000回記念例会。まさしくその日に佐々木ガバナーを洞爺湖の地にお迎えできたことは感激です。全員で記念写真撮影後、ガバナーの講話を頂き、心に残る記念例会とさせていただきます。佐々木ガバナーの今後のご健康を祈念申し上げます。



長沼ロータリークラブ

9月6日(月)

9月6日(月)、佐々木ガバナーに公式訪問を頂き誠にありがとうございました。

また、残暑の中大変な長時間に亘りクラブ運営に関わる多くのご助言を頂きましたことを感謝申し上げます。

「地域を育み大陸をつなぐ」というRIテーマの解説やCLPに関わる御助言等、我々としまでもRIを含めロータリークラブの活動に関する理解を深める、よき機会となりました。

御指摘のとおり、女性会員も積極的に活動に関わっている当クラブに於いては、会員相互が信頼し協力し合いながらクラブ運営を行っております。

また、長沼RCの年間スケジュールの中で大変重要なイベントとなっている「長沼国際交流フェスティバル」も報告のとおり、本年で19回目を迎えることとなります。

そして、当クラブの古川会員が第7グループのガバナー補佐を務めさせて頂いておりますので、IMの開催も予定しております。

様々な活動の予定がされている当クラブですが、今後とも何卒御指導御協力を賜りますようお願い申し上げます。



当別ロータリークラブ

9月7日(火)

9月7日(火) 佐々木ガバナー、下段ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会が開かれました。クラブ協議会では各委員長の活動計画の発表に1つ1つ丁寧にお答えいただきました。また、今年のRI会長をアグレッシブな方と紹介され、今年のテーマの意味を噛みくだいて説明していただきました。日本がポリオ撲滅に向けて貢献すべきことをその歴史と米国との寄付に対する考え方の違いを含めて説明されました。

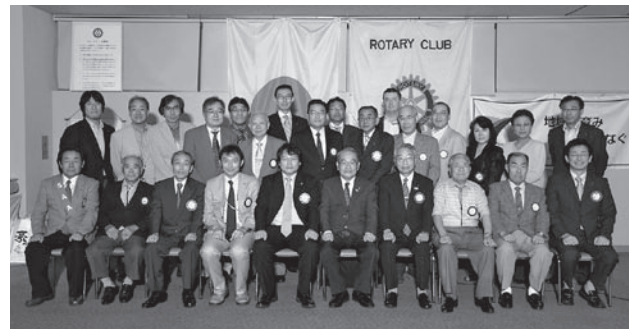


「ロータリーが良ければ、地域は良くなる」ということや「CLPは自活的な活動をめざしている」などのお話が印象深く残りました。最後に昨年から取り組んでいます当別大通りの「ロータリー花壇」も見ていただけたとのこと、会員一同うれしく思いました。

倶知安ロータリークラブ

9月8日(水)

佐々木ガバナーは、9月8日(水)に来訪されました。約半分のクラブ訪問を終えられてからの来訪で、ややお疲れのようでしたが、いざ演台に立ちお話をされたときには今年度の方針を熱心に解りやすく力をこめて話されました。



特に印象に残ったお話は、ロータリアン以外の人にロータリーをどう説明するか、ポリオ撲滅の奉仕団体に民間団体がトップ、世界中の人々の善意をつないで協力と支援を得る事にかけては世界でも私たちの右に出る団体はない、リーダーシップとは「自ら動く」ことで、日本の主従関係の意味は薄い、「世界の考える地球、地球を考えるロータリーでありたい」と言ったお話を伺い、改めてロータリー活動の価値を感じた一時でした。

小樽銭函ロータリークラブ

9月9日(木)

9月9日(木) 佐々木ガバナー・皆川ガバナー補佐の公式訪問がありました。

午前10時より「会長・幹事会」が行われ、当クラブからは会長、会長エレクト、幹事の3名が出席し、今年度立てた事業計画について報告しました。中でも、今年27回を迎える少年野球大会、来年創立130周年を迎える銭函小学校に桜の植樹等、地域に密着した活動の実施に向けて会員一丸となって取り組んでいる事を申し上げ、更にポリオの完全撲滅に向けての1クラブ\$1000は少数クラブながら引き続き據出すべく決議済みであることを報告しました。



11時からのクラブ協議会に先駆けて、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー1名、ポール・ハリス・フェロー10名の認証状とバッジの伝達式を行い佐々木ガバナーから直接交付して頂きました。その後、四大奉仕委員長より活動計画の報告を行い、佐々木ガバナーからは個々の奉仕部門毎に貴重な助言を頂きました。引き続き12時30分より食事、例会に入りガバナーから今年度の「地区基本方針」についての考え方等詳細に亘るご指導を賜わり有意義の中に終了しましたが温和で素晴らしいお人柄の佐々木ガバナー、随行された皆川ガバナー補佐には会員一同が感謝し再会を心から望みながらお別れした次第です。ご指導有り難うございました。

新入会員のご紹介

(敬称略)



千歳RC
五十嵐 桂一
7月8日入会
福祉サービス業



千歳RC
村上 光輝
7月8日入会
土木請負業



千歳RC
佐藤 彰二
7月8日入会
清涼飲料製造



えりもRC
長田 久
9月1日入会
信用金庫



滝川RC
横山 和幸
9月2日入会
公証人



千歳RC
萩川 勝文
9月16日入会
整骨院

ガバナー月信第4号(10月号)でご紹介しました えりもRCの東川美夜子会員について、正しくは「東山美夜子」会員です。ご訂正申し上げますと共に関係各位に深くお詫び申し上げます。

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

◇ マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

| | | |
|----------|--------------|-------|
| 札幌RC | 市川 唯行 会員(7回) | 9月17日 |
| 札幌あけぼのRC | 砂原 雅治 会員(3回) | 9月30日 |
| 札幌東RC | 渡邊 哲則 会員(2回) | 9月24日 |

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

◇ 米山功労者

| | | |
|--------|---------------|-------|
| 札幌RC | 松本 脩三 会員(7回) | 9月14日 |
| 苫小牧北RC | 伊藤 長英 会員(37回) | 9月29日 |
| 苫小牧北RC | 矢部 繁 会員(7回) | 9月29日 |

● 例会場の変更について

七飯RCが12月7日(火)から4月12日(火)まで、例会場の冬期閉鎖により下記に例会場を変更致しますので宜しくお願い申し上げます。

新例会場：クロフォード・イン大沼
〒041-1354

亀田郡七飯町字大沼85-9 TEL:0138-67-2964

例会曜日、例会時間は変更ございません。宜しくお願い申し上げます。

● クラブ事務所移転のお知らせ

江別西RCの事務所が下記に移転致しましたのでお知らせ致します。

新住所：〒067-0075 江別市向ヶ丘24番3 アスティオン243 103号
電話、FAXは変更ございません。

2013-2014年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 佐々木 正 丞
地区ガバナー指名委員長 酒 井 正 人

2013-2014年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～6項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

【参考】 国際ロータリー細則第13条（ガバナー指名と選挙）
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
（1998-1999年度地区年次大会決議第8号）

文庫通信



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

贈呈資料から

| | |
|--------------------------------------|---|
| ● 「広報 (Public Relations) とは…」 | 田岡久雄 2010 45p [申込先: 日本事務局 FAX (03)3903-3781] |
| ● 「ロータリーマジック 違いをもたらそう」 | 江崎柳節 2010 197p [申込先: 江崎柳節 FAX (0568)77-0239] |
| ● 「日本RC認証順位一覧」 | 前岡志郎 2010 56p [申込先: ロータリー文庫] |
| ● 「ロータリーの心と実践」 | D.2660 2010 90p [申込先: D.2660 FAX (06)6264-2661] |
| ● 「我等の生業」 | 行田さくらRC 2010 87p [申込先: 行田さくらRC FAX (048)564-3020] |
| ● 「マレーシア・ボルネオ島・サラワク州植林支援活動報告書」 | 上田東RC 2010 [28p] [申込先: 上田東RC FAX (0268)21-3501] |
| ● 「心学の祖 梅岩に学ぶ職業奉仕 真実かどうか? <DVD>」 | 亀岡RC 2010 [申込先: 亀岡RC FAX (0771)25-2151] |
| ● 「ロータリー情報マニュアル第3版」 | D.2650 2010 786p [申込先: 淵上勝夫 FAX (0779)87-2560] |
| ● 「新作講談『日本のロータリー創始者・米山梅吉翁一代記』 <DVD>」 | 宝井馬琴 (講談) さいたま新都心RC 2010 [申込先: ロータリー文庫] |

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

地区カレンダー（11月・12月）

| 11月 ローターリー財団月間 | | 12月 家族月間 | |
|----------------|--|----------|-------------------------|
| 1(月) | | 1(水) | 公式訪問(札幌RC) |
| 2(火) | 公式訪問(白老RC) | 2(木) | |
| 3(水) | 文化の日 | 3(金) | |
| 4(木) | 公式訪問(芦別RC) | 4(土) | 2011-12年度ガバナー補佐会議 |
| 5(金) | | 5(日) | |
| 6(土) | 函館大学ローターアクトクラブ創立40周年記念式典(函館) | 6(月) | |
| 7(日) | | 7(火) | |
| 8(月) | | 8(水) | |
| 9(火) | 公式訪問(伊達RC) | 9(木) | |
| 10(水) | | 10(金) | |
| 11(木) | 公式訪問(岩見沢RC) | 11(土) | 青少年交換オーストラリア受入学生送別会(札幌) |
| 12(金) | | 12(日) | |
| 13(土) | | 13(月) | |
| 14(日) | 第1グループIM(羽幌) | 14(火) | |
| 15(月) | | 15(水) | |
| 16(火) | 公式訪問(苫小牧北RC) | 16(木) | |
| 17(水) | | 17(金) | |
| 18(木) | 公式訪問(札幌東RC) | 18(土) | 2010-11年度ガバナー補佐会議(札幌) |
| 19(金) | 公式訪問(苫小牧RC) | 19(日) | |
| 20(土) | | 20(月) | |
| 21(日) | | 21(火) | |
| 22(月) | | 22(水) | |
| 23(火) | 勤労感謝の日 | 23(木) | 天皇誕生日 |
| 24(水) | ロータリー財団地域セミナー(大阪) | 24(金) | |
| 25(木) | 第2回ガバナー・エレクト研修セミナー(大阪) | 25(土) | |
| 26(金) | ロータリー研究会(大阪) | 26(日) | |
| 27(土) | ロータリー研究会(大阪) 赤平ローターアクトクラブ創立35周年記念式典(赤平) | 27(月) | |
| 28(日) | | 28(火) | |
| 29(月) | 公式訪問(札幌南RC) | 29(水) | |
| 30(火) | 公式訪問(札幌西RC) | 30(木) | |
| | | 31(金) | |

2010年11月のロータリーレート 1ドル82円

出席率・会員数

| グループ | クラブ名 | 例会数 | 会員数 | | | | 出席率 | |
|---------|---------|-----|----------|-----------|-----|-----|--------|-------|
| | | | 2010.7.1 | 2010.9.30 | 増減 | 内女性 | | |
| 1 | 深川 | 3 | 33 | 33 | 0 | 1 | 83.78 | |
| | 羽幌 | 4 | 49 | 49 | 0 | 1 | 87.88 | |
| | 妹背牛 | 4 | 8 | 10 | 2 | 0 | 87.50 | |
| | 小平 | 4 | 11 | 11 | 0 | 0 | 78.18 | |
| | 留萌 | 4 | 43 | 44 | 1 | 3 | 75.65 | |
| | 小計 | | | 144 | 147 | 3 | 5 | 82.60 |
| 2 | 赤平 | 4 | 31 | 31 | 0 | 0 | 83.33 | |
| | 芦別 | 4 | 37 | 37 | 0 | 0 | 78.47 | |
| | 砂川 | 5 | 51 | 51 | 0 | 0 | 97.89 | |
| | 滝川 | 4 | 91 | 95 | 4 | 2 | 69.00 | |
| | 小計 | | | 210 | 214 | 4 | 2 | 82.17 |
| 3 | 美唄 | 4 | 35 | 36 | 1 | 0 | 87.29 | |
| | 江別 | 4 | 32 | 31 | -1 | 1 | 92.74 | |
| | 江別西 | 4 | 25 | 26 | 1 | 3 | 89.40 | |
| | 岩見沢 | 4 | 81 | 83 | 2 | 0 | 94.76 | |
| | 岩見沢東 | 4 | 27 | 28 | 1 | 4 | 80.08 | |
| | 栗沢 | 4 | 23 | 23 | 0 | 1 | 97.80 | |
| | 栗山 | 3 | 25 | 28 | 3 | 2 | 94.70 | |
| | 当別 | 4 | 30 | 30 | 0 | 0 | 82.86 | |
| | 小計 | | | 278 | 285 | 7 | 11 | 89.95 |
| | 4 | 札幌 | 5 | 115 | 122 | 7 | 0 | 97.38 |
| 札幌あけぼの | | 4 | 13 | 13 | 0 | 1 | 100.00 | |
| 札幌はまなす | | 4 | 18 | 18 | 0 | 4 | 90.28 | |
| 札幌北 | | 3 | 35 | 35 | 0 | 6 | 98.99 | |
| 札幌モーニング | | 4 | 51 | 51 | 0 | 0 | 77.89 | |
| 札幌西 | | 4 | 56 | 57 | 1 | 5 | 91.98 | |
| 札幌西北 | | 4 | 35 | 35 | 0 | 5 | 91.90 | |
| 札幌手稲 | | 3 | 34 | 34 | 0 | 2 | 90.20 | |
| 小計 | | | | 357 | 365 | 8 | 23 | 92.33 |
| 5 | 札幌東 | 4 | 109 | 108 | -1 | 0 | 97.80 | |
| | 札幌清田 | 4 | 18 | 18 | 0 | 4 | 100.00 | |
| | 札幌幌南 | 4 | 56 | 58 | 2 | 0 | 100.00 | |
| | 札幌真駒内 | 4 | 26 | 26 | 0 | 3 | 98.07 | |
| | 札幌南 | 3 | 74 | 75 | 1 | 0 | 99.11 | |
| | 札幌大通公園 | 3 | 11 | 11 | 0 | 2 | 72.70 | |
| | 札幌セントラル | 4 | 10 | 9 | -1 | 5 | 69.50 | |
| | 新札幌 | 4 | 28 | 28 | 0 | 3 | 83.01 | |
| 小計 | | | 332 | 333 | 1 | 17 | 90.02 | |
| 6 | 岩内 | 4 | 17 | 18 | 1 | 0 | 78.84 | |
| | 倶知安 | 5 | 37 | 38 | 1 | 4 | 78.00 | |
| | 小樽 | 4 | 68 | 70 | 2 | 0 | 89.83 | |
| | 小樽南 | 4 | 74 | 76 | 2 | 2 | 87.73 | |
| | 小樽銭函 | 4 | 23 | 23 | 0 | 2 | 72.00 | |
| | 蘭越 | 3 | 9 | 9 | 0 | 0 | 100.00 | |
| | 余市 | 5 | 41 | 41 | 0 | 3 | 88.00 | |
| 小計 | | | 269 | 275 | 6 | 11 | 84.91 | |

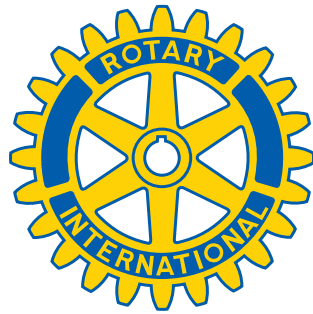
9月出席率・会員増減数

| | |
|------------|--------------|
| クラブ数 | 73クラブ |
| 期首会員数 | 2,633人 |
| 当月末会員数(女性) | 2,687人(109人) |
| 増加会員数 | 54人 |
| 当月平均出席率 | 85.50% |

| グループ | クラブ名 | 例会数 | 会員数 | | | | 出席率 |
|------|---------|-----|----------|-----------|-----|-----|--------|
| | | | 2010.7.1 | 2010.9.30 | 増減 | 内女性 | |
| 7 | 千歳 | 4 | 54 | 58 | 4 | 2 | 76.28 |
| | 千歳セントラル | 4 | 34 | 34 | 0 | 1 | 93.30 |
| | 恵庭 | 4 | 44 | 44 | 0 | 3 | 83.30 |
| | 北広島 | 4 | 11 | 12 | 1 | 0 | 91.67 |
| | 長沼 | 2 | 20 | 20 | 0 | 3 | 90.50 |
| | 由仁 | 4 | 9 | 9 | 0 | 1 | 52.78 |
| 小計 | | | 172 | 177 | 5 | 10 | 81.31 |
| 8 | えりも | 4 | 22 | 24 | 2 | 1 | 94.78 |
| | 三石 | 3 | 14 | 15 | 1 | 2 | 82.20 |
| | 様似 | 4 | 23 | 23 | 0 | 1 | 79.00 |
| | 静内 | 4 | 74 | 75 | 1 | 1 | 81.60 |
| | 浦河 | 4 | 35 | 34 | -1 | 2 | 95.60 |
| | 小計 | | | 168 | 171 | 3 | 7 |
| 9 | 伊達 | 4 | 56 | 57 | 1 | 0 | 78.95 |
| | 室蘭 | 4 | 42 | 45 | 3 | 0 | 81.40 |
| | 室蘭東 | 5 | 38 | 39 | 1 | 0 | 84.12 |
| | 室蘭北 | 4 | 38 | 38 | 0 | 3 | 100.00 |
| | 登別 | 5 | 31 | 32 | 1 | 1 | 84.38 |
| | 洞爺湖 | 4 | 7 | 8 | 1 | 0 | 87.50 |
| 小計 | | | 212 | 219 | 7 | 4 | 86.06 |
| 10 | 函館 | 4 | 82 | 85 | 3 | 0 | 76.11 |
| | 函館亀田 | 3 | 35 | 38 | 3 | 2 | 92.69 |
| | 森 | 4 | 39 | 39 | 0 | 0 | 69.20 |
| | 七飯 | 4 | 14 | 14 | 0 | 0 | 75.00 |
| | 長万部 | 4 | 8 | 8 | 0 | 0 | 71.87 |
| | 函館セントラル | 4 | 29 | 28 | -1 | 2 | 69.65 |
| 小計 | | | 207 | 212 | 5 | 4 | 75.75 |
| 11 | 江差 | 4 | 14 | 14 | 0 | 1 | 81.82 |
| | 函館五稜郭 | 4 | 45 | 45 | 0 | 0 | 97.16 |
| | 函館東 | 4 | 44 | 46 | 2 | 6 | 81.34 |
| | 函館北 | 4 | 25 | 25 | 0 | 0 | 97.00 |
| | 北斗 | 4 | 17 | 18 | 1 | 1 | 63.80 |
| | 松前 | 4 | 3 | 3 | 0 | 0 | 66.00 |
| 小計 | | | 148 | 151 | 3 | 8 | 81.19 |
| 12 | 白老 | 4 | 29 | 29 | 0 | 1 | 86.00 |
| | 苫小牧 | 4 | 53 | 55 | 2 | 2 | 75.48 |
| | 苫小牧東 | 4 | 25 | 25 | 0 | 3 | 90.00 |
| | 苫小牧北 | 4 | 29 | 29 | 0 | 1 | 96.49 |
| | 小計 | | | 136 | 138 | 2 | 7 |
| 合計 | | | 2,633 | 2,687 | 54 | 109 | 85.50 |



表紙：鴨々川の紅葉
撮影：(株)札幌振興公社 今野哲郎



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2510

2010-2011

GOVERNOR

MASATSUGU SASAKI

地域を育み、大陸をつなぐ